



地域における
リハビリ専門職連携の必要性とは
～松戸市リハビリテーション連絡会の
設立から活動を経て～

医療法人社団松恵会 けやきトータルクリニック
松戸市リハビリテーション連絡会
大住崇之

はじめに



- ❏ 各市町村における総合事業、地域リハビリテーション活動支援事業など、介護予防分野や地域・在宅分野の様々な場面でリハビリテーション専門職（以下、リハ職）の活動が求められている。
- ❏ 既存の都道府県レベルではなく、市町村レベルでのリハ職団体が必要とされてきている。
- ❏ 当院がある千葉県松戸市においてリハ職連絡会を設立し、活動を開始したことで、リハ職の連携だけではなく、行政や他職種との連携にもつながっている。
- ❏ 今回は設立から活動を経て、地域でのリハ職連携の必要性について課題もふまえて報告する。

松戸市概要



- 松戸市は千葉県北西部に位置し、西は江戸川を境に東京都葛飾区、埼玉県三郷市に接し、南は市川市、東に鎌ヶ谷市、東から北にかけて柏市、流山市と接している。

面積	人口	高齢者人口	高齢化率
61.38km ²	496,961名	126,497名	25.5%

※平成31年4月1日現在

当院の概要

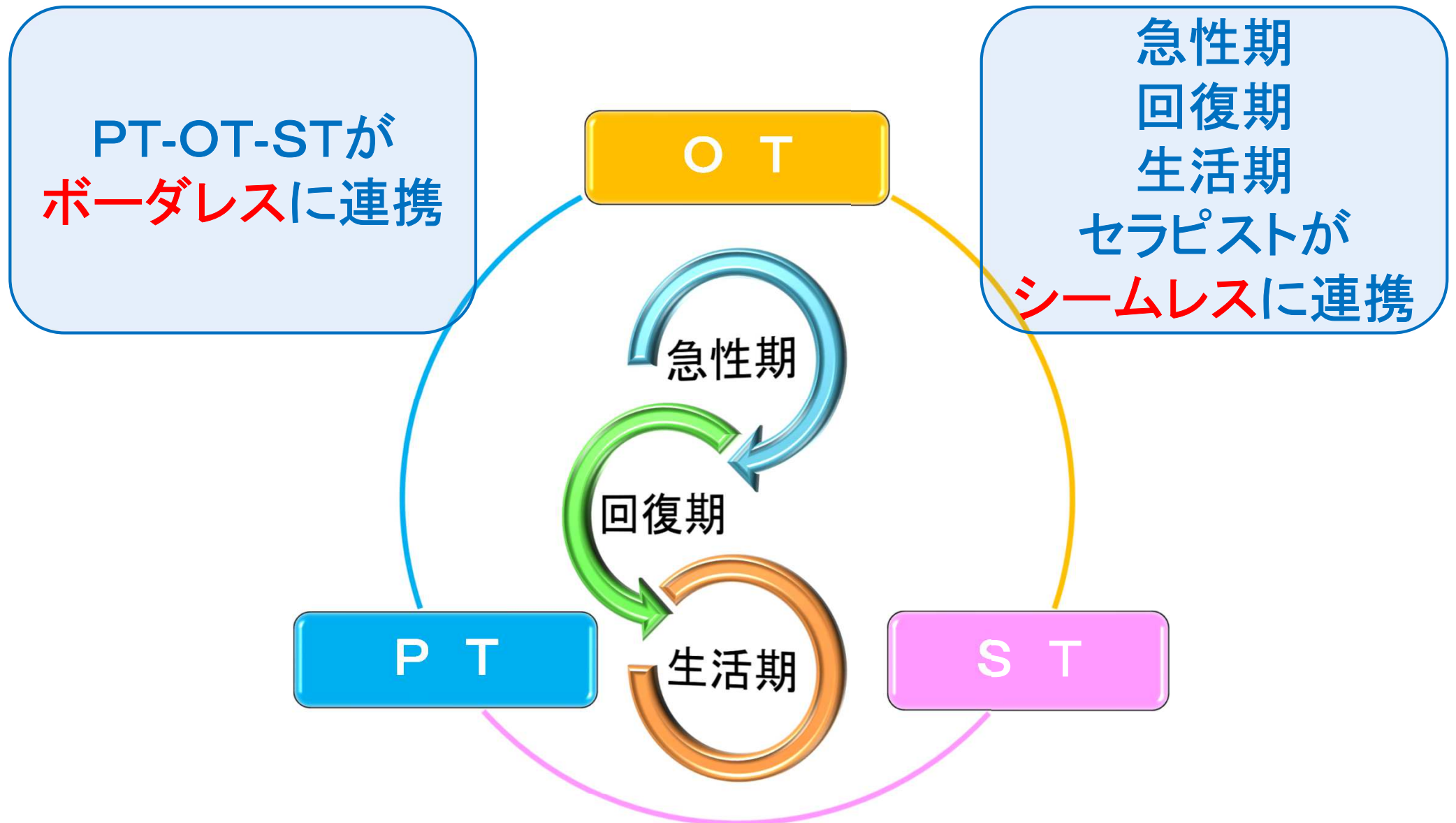


松戸市リハ連絡会設立経緯

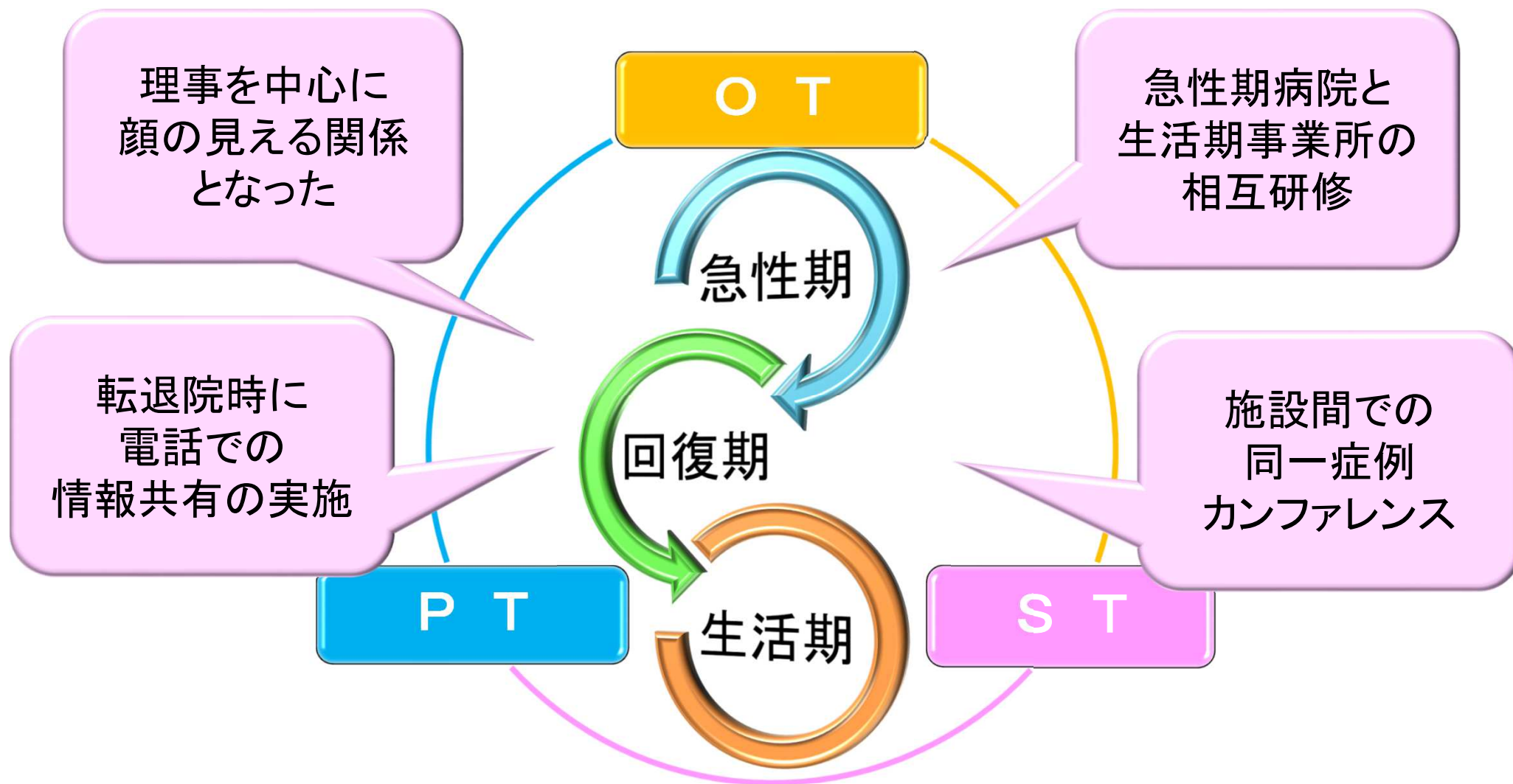


- 🍃 平成28年10月 松戸市内の病院、施設、在宅系事業所、行政等関わらず、リハ専門職が連携できる組織にしたいと考え、14施設20名の有志にて設立準備委員会を開始。
- 🍃 1回/月程度の準備会議を行い、設立へ向け活動。
- 🍃 平成29年9月 設立大会・総会開催。
 - 来賓として市医師会長、歯科医師会長、薬剤師副会長、行政、関連専門職団体等に参加いただいた。
- 🍃 2019年11月現在 会員数 施設 467名

連絡会が考えるリハ専門職連携



リハ職との連携



行政との連携



- 🍃 地域ケア会議（市内15圏域）
 - 地域個別ケア会議（圏域毎に4回/年）
 - 地域包括ケア推進会議（圏域毎に2回/年）
 - 自立支援型ケアプラン検討会（全12回/年）
- 🍃 松戸市地域ケア会議（2回/年）
- 🍃 認知症初期集中支援チーム（市内15圏域）



理事を中心に委員を推薦

多職種との連携



医師会



- 在宅ケア委員会へ委員として出席
- 在宅医療・介護連携推進事業への参加
- 松戸市在宅医療・介護連携支援センターへの人材紹介
- 医師とリハ職の連携検討会議開催予定(令和2年度)

他職種
連絡協議会



- 地域ケア会議等での情報交換
- 研修会等の後援・共催
- 日常業務での連携

これからの課題



【リハ職連携】

顔の見える関係が
会員全体では不十分



【リハ職意識統一】

地域課題や専門職知識の
共有・教育



【多職種連携】

多職種での合同カンファレンスや
ICT等による連携強化

考 察



地 域

多職種連携

リハ職
連携強化

認 知

行 政

業務依頼

リハ職間での連携を十分に行い、多職種連携を行っていくことで、行政に認知され、リハ専門職が地域での活動が促進できると考える。

考 察



リハ職の地域活動促進



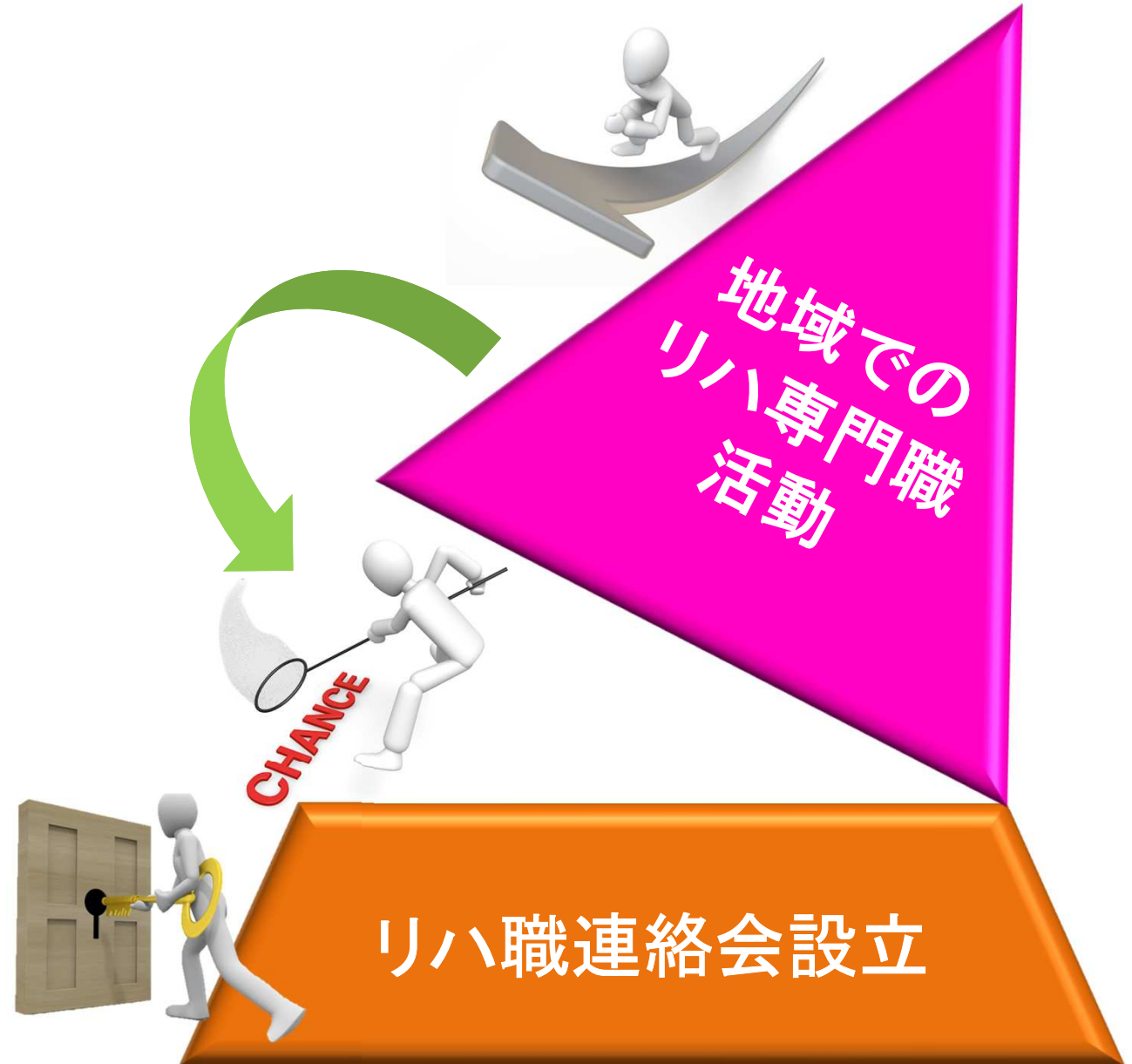
リハ職認知度向上



地域活動のSTART



地域活動の土台



まとめ



- 🍃 今回、市内リハ専門職連絡会を設立し、活動を経て、地域でのリハ職連携の必要性について課題を含め検討した。
- 🍃 リハ職連絡会設立により、リハ職連携や多職種連携、行政との連携において一定の結果が得られた。
- 🍃 連絡会の活動において、リハ職の知識共有を含めた、リハ職連携強化、多職種連携強化など新たな課題がみられた。
- 🍃 今後も、多職種連携や行政との活動を行い、地域で必要とされるリハ専門職となれるよう継続して取り組んでいきたい。